



様々な体験をした夏休み

今治市立亀岡小学校長 柚山 明

前回の学校便りで、家庭は「心のやすらぎの場・習慣づくりの場」であり、地域は「ふるさとを愛する心を育む場」であるとお伝えしました。そして、夏休みは家庭や地域の教育力を発揮していただく貴重な期間であるとも述べました。

44日間の長い夏休み、地域ぐるみで児童を見守り育てていただき、ありがとうございました。ごく一部ですが、夏休み中の児童の様子を下段で紹介しておりますのでご覧ください。

9月1日の2学期始業式では、児童に「続けることの大切さ」を話しました。イチロー選手の言葉「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」を紹介し、2学期の目標に向けて小さなことでも毎日続けるよう促しました。一人一人の児童が、自分の目標をしっかり持ち継続して努力することができるよう、家庭や地域でもお声掛けをお願いします。

葉山学習会「七夕飾り」 7月25日、葉山学習会の活動として七夕飾りを作りました。児童は、自分の夢や願いを書いた短冊や、色紙で作った飾りを笹につるしました。中には、かなえないことが多過ぎて、四つも五つも短冊をつるしている児童もいました。一つでもよいので、夢や希望がかなうといいですね。



ふれあい学習会 7月28日、亀岡小学校を卒業した中学生が、小学生の学習支援のために来校しました。小学生は、夏休みの宿題や家庭で取り組んでいるワークブックを持参し、真剣な表情で学習していました。中学生は、横からそっと見守りながら、小学生が行き詰まったり間違えたりしたときに分かりやすくアドバイスをしていました。中学生のおかげで、ほとんどの小学生がたくさんの課題を終わらせることができました。

PTA奉仕作業 8月17日、亀岡小学校の環境整備のためにPTA奉仕作業が実施されました。保護者、全校児童、教職員に加えて地域からたくさんの方が参加してくださりました。校庭の除草、遊具の修繕、樹木の剪定・伐採などを行いましたが、刈払機やヘッジトリマー、チェーンソーなどの専用道具をたくさん持参してくださり、効率的に作業ができました。また、校舎内の床磨きを、1・2・3年生と女性の保護者が行いました。経年の汚れが取れて、廊下がとても明るくきれいになりました。協力していただいた地域の皆様、保護者の方々、本当にありがとうございました。



盆踊り練習 「亀岡地区盆踊り花火大会」に向けて、8月18日に全校児童が盆踊りの練習をしました。地域にお住まいの藤本さんを講師にお招きし、「炭坑節」「踊りの輪」「木山音頭」「ダンシングヒーロー」「亀岡小唄」を習いました。1時間あまり、じっくりと指導していただいたおかげで、盆踊り本番では、たくさんの児童が踊りの輪に加わっていました。